

平成15年第2回三重県議会定例会



新知事の政治姿勢や 防災対策などについて 活発に議論

野呂知事の就任後、初めての定例会が、六月十日から三十日まで二十一日間の日程で開催されました。

今回の定例会では、「平成十五年度三重県一般会計補正予算（第一号）」ほか十九件の議案が審議されました。

十日の開会日には、知事から、議案の提案説明と合わせて、今後の県政運営にあたっての所信表明が行われました。十六日には、各党派の代表三人による代表質問が行われました。また、十八日と二十日には、各議員からの一般質問があり、新知事の政治姿勢などを中心に活発な議論が行われました。

また、十六日には決議案一件が、十八日には意見書案二件が原案どおり可決されました。

二十三日、二十四日、二十五日には常任委員会が開催され、議案の審査が行われました。

閉会日の三十日には、上程された十七件の議案を原案どおり可決するとともに、公安委員会及び人事委員会委員など三件の人事関係議案に同意し、閉会しました。

代表質問

新政みえ

県民しあわせプラン

—具体的な長期計画を示せ—

田中党議員
(上野市選出)

問

知事選挙において県民に公約された「県民しあわせプラン」の策定は新しい県政のバイブルとして重要です。しかし、今までの県長期総合計画「三重のくづくり宣言」との整合性は、どうなるのでしょうか。また、現在の計画が廃止になれば、政策体系や数値目標がなくなり、県民への公約が反故になってしまいます。まずは、プランの策定ありきで、その後県民や市町村、諸団体の意見を聞き、バージョンアップを重ね、常に県民の立場で作り返えていくということが肝要であると考えます。選挙で選ばれた政治家として、財政状況等に縛られず少しでも早く、三重の元気づくり、暮らしづくり、絆づくりの具体的な施策を展開し、県民の行政満足度をあげていただきたいが、所見をお聞きます。